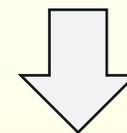


いま止めよう！気候危機

シンポジウム in 横須賀



あつぎ気候市民会議



カーボンニュートラル あつぎ未来プロジェクト



2025年2月16日

一般社団法人あつぎ市民発電所

遠藤睦子

一般社団法人あつぎ市民発電所



気候危機を回避し・原発に頼らない社会を目指そう
7年前から活動している市民団体

市民の手で再生可能エネルギーの地産地消や
農業の活性化にチャレンジ

ソーラーシェアリング
…太陽光を農業と発電でシェア

もっと再エネ発電を増やしたい しかしなかなか…
ようやく昨春に住宅用オンサイトPPA発電所2か所

2020年1月 1号機通電式 厚木市飯山



2024年春 2号機、3号機 住宅の屋根にオンサイトPPA発電所

地球温暖化～地球沸騰化

人類史的課題：化石燃料を燃やす人間活動が原因
人類と多くの生き物-生態系に、未来世代に甚大な影響
いま生きている我々の選択にかかっている



市民が課題解決策の検討に参加する方法として
『気候市民会議』



社会の縮図になるよう
無作為（くじ引き）で選ばれた市民（数十人）が、バランスの取れた情報を得て
熟議⇒提言



効果的な政策-対策、行動変容、社会・
産業・価値観の転換へ

気候市民会議のこれまでの実績

ヨーロッパ フランス、イギリスで2019年から
始まった方法
国単位で少なくとも12国、自治体・地域レベル多数開催 提言を受けて法律制定や条例制定

日本

2020年 札幌市（試験的）

2021年 川崎市

2022年 武蔵野市、所沢市、江戸川区

2023年 多摩市、**厚木市**、**逗子・葉山**、日野市、
つくば市、仙台市、松戸市、**横浜青葉**、
さいたま美園地区

2024年 杉並区、**二宮町**、松本市、**茅ヶ崎市**、
鎌倉市、世田谷区、東村山市、札幌市

あつぎ気候市民会議：市民から市と協働で開催を申請
「厚木市市民協働提案事業」制度を活用
専門家のアドバイスを受け
市民による実行委員会で運営（資金も）

これまでのこと 2023年度



地球温暖化を止める：化石燃料大量消費前より1.5℃の上昇に抑えるために
地域市民が自分事として考え、熟議し、対策を考える
豊かで暮らしやすい未来、無関心でも一緒にできる脱炭素社会の実現へ

あつぎ気候市民会議

厚木市市民協働提案事業

厚木市カーボン
ニュートラル・
ロードマップを
達成させよう！



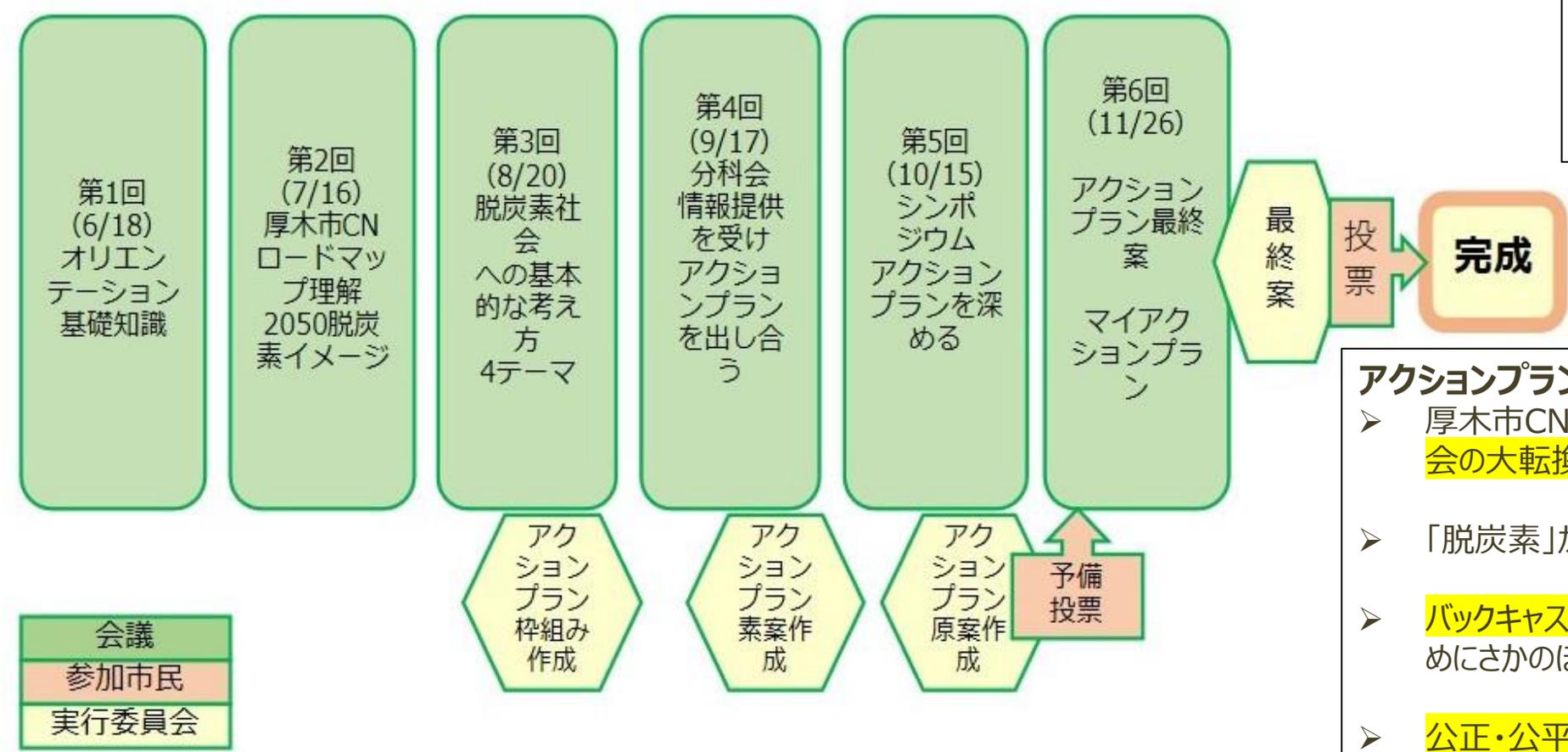
2023年6～11月 6回の会議
専門家のレクチャーと様々な情報提供
グループ討議を重ね
「脱炭素市民アクション in あつぎ」
を作り上げた⇒市長に報告・市民に報告

費用：総額・準備期間含め610万円



あつぎ気候市民会議のプロセス

- 4テーマ
- A-1：再エネを創る・地産地消
 - A-2：移動・まちづくり
 - B-1：省エネ・住まい
 - B-2：消費・食・農・廃棄



- アクションプラン 作るうえで注意したポイント**
- 厚木市CNロードマップの目標数字を達成できる社会の大転換につながるプラン
 - 「脱炭素」かつ「豊かで暮らしやすい」未来
 - **バックカスティング**（未来のイメージに到達するためにさかのぼって考える）
 - **公正・公平**で、だれ一人取り残さない
 - 環境や気候問題に無関心な人も普通に暮らして脱炭素になる仕組みをつくる
 - **主語は「市民」**、市民が行いたいことを支える必要条件の整備を行政や事業者を求める

気候危機を回避し、豊かで暮らしやすい厚木の未来を創ろう！
「脱炭素市民アクションプラン」を作り、市と市民に提言

脱炭素市民アクションプラン in あつぎ

5章74項目

第1章 再生可能性エネルギーの地産地消

- (1) 太陽光発電を中心とした再エネ導入
- (2) 多様な再エネ導入・熱利用
- (3) 再エネの地産地消実現と地域エネルギーマネジメントシステム構築

第2章 移動・まちづくり

- (1) コンパクトシティの形成
- (2) 公共交通を充実し、自家用車に頼らないまち
- (3) 電気自動車の普及
- (4) 自転車を利用しやすいまち
- (5) 新しい移動手段やサービスの導入
- (6) ゼロカーボン宅配サービスの利用

第3章 省エネ・住まい

- (1) 住まいの断熱による省エネと健康の増進
- (2) 再エネの電源構成比率の高い電気への切換え
- (3) 家庭での脱炭素ライフスタイルの実践
- (4) 公共施設の省エネと活用

第4章 消費・食・農・廃棄

- (1) 大量生産・大量消費の見直し、価値観の転換
- (2) 廃棄物を減らし、資源循環を進める
- (3) 健康を支える食と農業

第5章 「脱炭素市民アクション in あつぎ」を具体化、実践、定着していくための取組み

- (1) 市民協働の継続
- (2) 市内関係者との連携 4項目



イラスト制作：参加市民の菊地栞さん



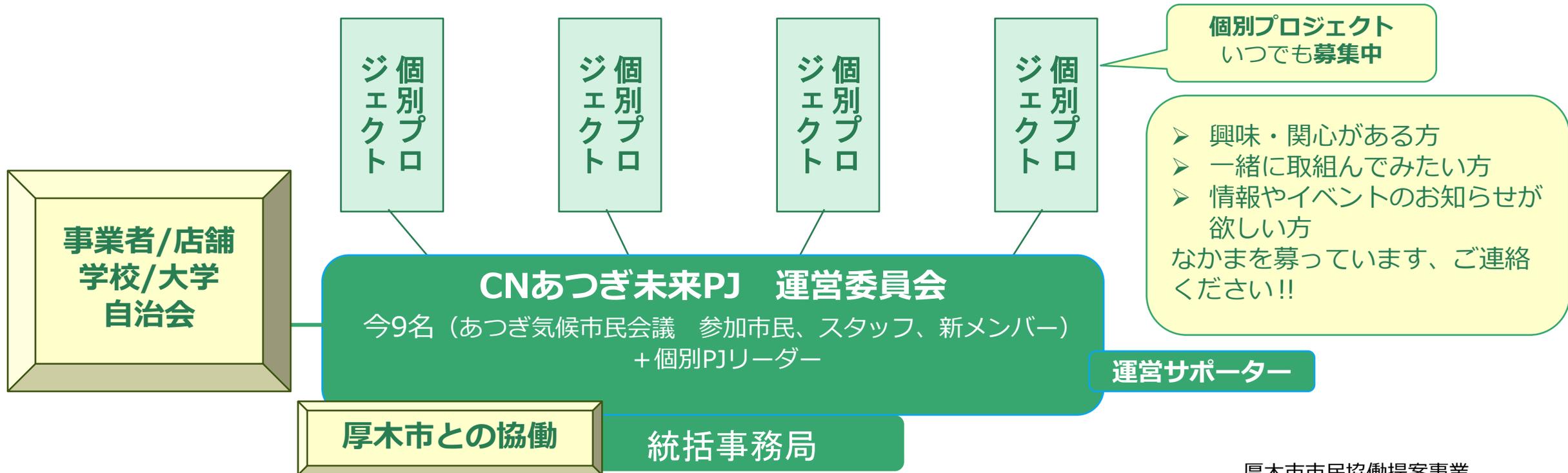
報告書冊子_脱炭素市民アクションinあつぎ

2024年度～



市民と市が協働で連携して脱炭素アクションプラン⇒アクションへ
脱炭素社会を実現しよう

カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト



厚木市市民協働提案事業

個別プロジェクト一覧 (2025年1月現在)

厚木市市民協働提案事業

プロジェクト名	内容概略
アクションプラン普及啓発	市民への普及 報告書・パンフ配布、公民館単位の説明会、子ども向けWS、講演と交流のイベント 自治会、学校、店舗、事業者などへの呼びかけ
学生の脱炭素活動チーム支援	アクションプラン始動する学生チーム編成支援、交流拡大
子中保育園 環境教育	脱炭素あつぎイラスト活用～保育園児の気候変動への関心 2024年度第1回 かながわ脱炭素大賞 ユース未来部門受賞
農福学連携・農産物地産地消	農福学連携で、農産物地産地消・脱炭素、地域活性化推進
あつぎ地産地消・オーガニック給食	脱炭素につながる農産物の地産地消、学校給食への採り入れを進めて、食・農を大切にする価値観の醸成
再エネ導入促進、 地域エネルギーマネジメント構築	再エネ導入ロードマップ目標値を達成させる。エネルギー地産地消、地域内マネジメントに必要な道筋の学習など。
小水力発電所建設	発電事業の調査研究から事業化へ
既存住宅断熱リフォーム推進	自宅で実施、断熱効果計測、補助金活用アドバイスで普及拡大
(教室の断熱改修ワークショップ)	学校の教室で断熱リフォームをDIYで行うことで酷い環境の改善・省エネ効果と環境教育

市と市民協働事業（あつぎ気候市民会議、CNあつぎ未来PJ）



あつぎ気候市民会議の成果 = 脱炭素市民アクションプラン これを市（市長）に提出
市は受取り、**市政に反映してもらう約束**でスタートしている
(アクションプランそのままを実施できるわけではないが、市民の意思として尊重・活用する)

市民独自でのアクション
取組める項目はかなり限定的

脱炭素の**進捗評価** アクション効果の**可視化**
2030年目標（カーボンハーフ）に到達できるか
評価指標なども要検討

7月,10月,2月「運営委員メンバー」と市で
脱炭素アクション検討会

今後も
市民と市の直接的な意見交換の場を継続的に持つ

次期厚木市総合計画策定へのヒアリング
CNの視点を全施策のベースに
市民の多様な意見が反映される仕組みを

課題山積みですが…
ひとつずつ
動いて変えよう！

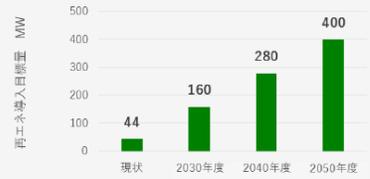
再エネ普及・地域エネルギー マネジメント構築プロジェクト

「厚木市カーボンニュートラルロードマップ」を
実現させよう！ 市民の相談にのります

3 必要な再生可能エネルギー導入量は？

2050年度までに太陽光発電400MWの導入が必要です。

【太陽光発電の導入量増加イメージ】



市内には太陽光発電の導入ポテンシャルは約840MWあります。約半分に設置することで達成！

【2030年度までの設置場所内訳】

設置場所	既設	新設	合計
事業所	10	65.5	75.5
家庭	19.5	20	39.5
土地(遊休地等)	14	31	45
合計	43.5	116.5	160

2030年度の目標達成には、現状の3.7倍の設置が必要！

まずは2030年までに110MW増やす戸建住宅4万軒のうち1万軒にソーラーを

地域新電力で、地域の再エネを地域内で消費、地域内でエネルギーもお金も循環
災害に強く、地域課題の解決
厚木での実現に向けた道筋を描き活動開始しよう

小水力発電所建設プロジェクト

2030年頃までに市内河川で小水力発電所をつくろう！
地域強靱化、エネルギー地産地消、地域理解と裨益

あなたのお住まいをもっと豊かにする

お得 快適 太陽光・断熱 補助金活用セミナー

厚木市市民協働提案事業

参加無料
3.16日
13:30~16:00
アミーあつぎ
7F ユーザホール

セミナーテーマ
厚木市の再エネ・省エネ補助金で豊かに暮らす

今とってもお得な再エネと省エネ。太陽光発電には初期投資0円でご自宅に設置できて収入まで得られる方法があります。断熱窓リフォームで冷暖房費をグッと節約しつつ、もっと快適で健康な暮らしにグレードアップ。家計にも住む人にも環境にもやさしい、今が旬の補助金活用セミナーを開催いたします。

講師
高橋真樹さん (断熱)
ノンフィクションライター
放送大学非常勤講師
持続可能性をテーマに、環境・エネルギー分野などで、取材・執筆・講演を行う。エコハウスに暮らし発信を続ける「断熱ジャーナリスト」でもある。著書に「断熱」が日本を救う健康・経済・省エネの切り札』（集英社新書）ほか多数。

講師
真鍋航輝さん (太陽光)
ハチドリソーラー株式会社
セールスマネージャー
「自然エネルギーが主電源の未来を創る」というミッションのもと、太陽光発電の普及を推進。初期費用0円で設置可能な太陽光発電サービスを展開。安心のサポートプランを提供しており、自治体から認定プランとして選出されるなど、高い信頼と評価を得ている。

お知らせ 厚木市 環境政策課

定員60名(先着順) ご参加にはお申し込みが必要です。 右の二次元コードを読み取りWebフォームにご入力ください。

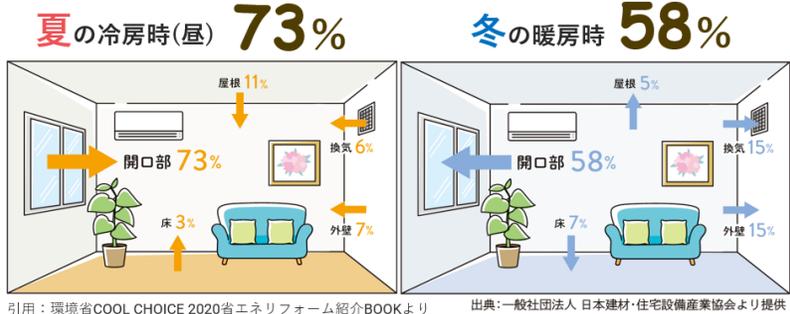
【お問合せ】 ☎080-1010-4759 (遠藤) ✉ cnpj_info@kikoshiminkaigi.atsugi-shiminhatsudensho.net
【主催】 厚木市／一般社団法人あつぎ市民発案 【実施主体】 カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト



3月16日
補助金活用セミナー
どうぞご参加を
無料・要申込み

省エネ普及・既存住宅断熱 リフォーム推進プロジェクト

窓の断熱リフォームやってみました
健康・快適・そして光熱費削減！



既存のアルミサッシ窓の内側に「内窓」をつける
国と神奈川県と厚木市の補助金で、この実施例では9割近くも出る！
自己負担は1割程度+消費税

内窓工事補助金活用実施例

工事金額	内窓1		67,200
	内窓3		107,850
	内窓5		53,850
	内窓7		107,100
		材料費合計	335,750
		労務費	80,000
		材料費合計+労務費	415,750
		諸経費	12,500
		合計(税抜)	428,250
国補助金申請額			211,000
神奈川県申請額		415750*1/3(千円未満切り捨て)	138,000
厚木市申請額		(415750-211000-138000)*1/2	33,750
		補助金申請合計	382,750

詳しい説明
はセミナー
でも



ご清聴ありがとうございました



CNあつぎ未来PJ 2025年度も市民協働で継続します

「脱炭素アクション」の取組みを

なるべくたくさんの方で

楽しく・豊かに

本気で

ひろげていきましょう

まずは**2030年カーボンハーフ達成実現**に向けて